

事業所名

放課後等デイサービス事業所はばたき

支援プログラム（参考様式）

作成日

R 8

年

4

月

1

日

法人（事業所）理念		・利用する障害児（以下「利用児」という。）が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、当該利用児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とします。						
支援方針		・褒めて認めて大事にされる経験を積み重ね、自己肯定感を育てる支援をしていきます。 ・集団遊びでは社会生活に必要なルールやスキルを学び、仲間と信頼関係を気づくためのコミュニケーション能力を育てます。						
営業時間		平日	9時	45分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	なし
		学校休業日	8時	0分から	18時	30分まで		
		支援内容						
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・改善：来所時の検温、視診、また、利用中の観察、健康状態や心身の状態の把握を行う。 ○生活習慣や生活リズムの形成：手洗い、うがい、排泄誘導、片づけなどが身につくように支援する。 ○基本的な生活スキルの獲得：食事、排泄、身支度などの生活動作の自立に向けた促しを行う。また、お手伝いを通して生活スキルを獲得する。						
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上：サーキット、小集団遊びを通して、基本的な体の使い方（バランス、移動、用具の操作、など）を知る。 ○保有する感覚の活用・特性への対応：トランポリン、サーキットなどの活動を通して、調和のとれた発達の援助を行う。また、ミュージックケアの活動を通して、五感を刺激しながら自己コントロールの方法を学んだり不安定行動の安定を図ったりする。						
	認知・行動	○認知の特性についての理解と対応：優位感覚を把握し、個々の成長（発達段階）に応じた個別の課題を提供する。 ○対象や外部環境の適切な認知と行動の習得：日常生活の構造化（スケジュールや手順書、環境調整など）によって見通しを持って取り組みを行い、自信を持って楽しく学習・生活ができるよう支援する。 ○感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さから生じる行動障害の予防、改善に向けた対応を行う。						
	言語 コミュニケーション	○言語の形成と活用：絵本の読み聞かせをしたり、文字の読み書きを通じて文字や言葉に触れたり、様々な活動を体験することで言葉と結びつけ、表出する言語を増やす。 ○コミュニケーション手段の選択と活用：耳からの情報が優位な子どもに対しては簡潔な言葉を使い、視覚の情報が優位な子どもにはカード支援、文字で伝えるなどの支援を行う。模倣や要求、拒否などの意思のやりとりを行えるよう、個々に合った方法でのコミュニケーションツールを把握し活用する。 ○状況に応じたコミュニケーション：机上の学びが実体験に般化できるよう促していく。活動を通して他者とやりとりをする中で、相手の話を聞く・自分の気持ちを伝える場面をつくる。 ○コミュニケーションの基礎的能力の向上：言葉が出ない子どもに対しては、指さしや音声、イラストカード、文字、表情、クレーン動作などから、自分の気持ちを伝えようとする行動に対し、表現の幅を広げるなど、個々に合ったコミュニケーション手段を用いて、意思のやり取りができるように促す。 ※クレーン動作：発達障害や自閉症の子どもが何かを要求するときに、親や周りの大人の手を取ったり、手を引っ張って物事を要求する意思表示の行動。						
人間関係 社会性	○自己の理解と行動の調整：お手伝いや活動の司会（役割）、買い物活動などを通して成功体験や達成感を得たり、褒められ認められて生じる自己肯定感を重ねたりすることで、相手や自分を好き（大切）と思える経験を積めるよう支援する。必要に応じて個室やパーティーションを用いた空間を用意し、情緒の安定を図るとともに感情のコントロールができるよう支援する。 ○遊びを通じた社会性の発達：集団活動の中で“お友達と一緒に”を楽しんだり、カルタやトランプ等のルールのある遊びを通して楽しくお友達と関わる機会を提供する。遊びに参加する時の方法や物の貸し借りに際してのやり取りを学ぶ機会を設ける。また、職員とのふれあい遊び（手遊びやハンドトリートメントなど）を通して、職員との関係性を基盤にして様々なお友達と関わる機会と安心できる場所の提供をし、他者との関係構築を図る。 ※ハンドトリートメント：手のマッサージやトリートメントを行うことで、血行促進やリラクセス効果、浮腫みの改善などの効果が期待できる施術。 ○仲間づくりと集団への参加：他児との関わりの中で「友達」を見つけ絆を深め、相手の気持ちを考えることを学びながら適切な関わりができるよう促す。							
家族支援		・家族からの相談や悩みに対する助言 ・家族の休息、リフレッシュ			移行支援		・地域とのつながりの取り組み（近所のスーパーへの買い物活動、地域住民や地域で暮らす他の児童との交流など） ・地域の施設や公園等へ出かけ、社会への興味関心のきっかけ作り ・進路先や移行先への相談援助や情報提供	
地域支援・地域連携		・就学前の園や児童発達支援事業所、学校や医療機関等との情報連携や調整、支援方法についての情報共有 ・相談支援事業所との連携			職員の質の向上		・ケース会議 ・内部研修：感染症・災害、事故、虐待、身体拘束、防犯、救命、ハラスメント等 ・外部研修：強度行動障害児者研修（基礎・実践）等	
主な行事等		4月：お店屋さんごっこ 5月：散歩 6月：スーパーへ買い物 7月：七夕 8月：水遊び／クッキング 9月：はばたきマルシェに向けた制作／避難訓練 10月：ハロウィン／はばたきマルシェ作品展示 11月：おにぎりを作ろう（クッキング） 12月：クリスマス会 1月：お正月遊び 2月：バレンタインデー／節分 3月：お楽しみ会／避難訓練 ※天候等により内容を変更する場合があります。						

令和7年3月31日 初回作成

令和8年4月1日 更新